

平成29年度 ばんだに自治振興会 部会計画表

部会名	事業名	(1)対象と目的・・・誰に(何に)対して、何を目的に行いますか？
人権・生涯学習部会 予算額:1,668,000	人権研修	伴谷地域住民を対象として、人権をテーマとした研修会等を行うことにより意識を高め、お互いを思いやり人権を尊重する地域をつくる。
	文化祭	伴谷地域の人と人とのつながり、交流の場として文化祭を開催し、明るく文化的な地域をつくる。
	世代間交流事業	料理教室 教室を通じ、人と地域の交流を図る。
		手打ちそば教室 教室を通じ、人と地域の交流を図る。
生涯学習事業	味噌作り教室 伝統的食材である味噌作りを通して日本の食文化を体験する。	
	パソコン教室 現代社会において必要なパソコンの知識を習得する。	
	陶芸教室 江戸時代から続く素朴な焼き物八田焼を作陶し、歴史を学んでもらう。	
環境部会 予算額:913,000	ごみ集積所整備事業	伴谷地域内のごみ集積所について、各区の要望に基づき、修繕および新設整備する。
	散在ごみパトロール・清掃事業	伴谷地域内の主要道路沿いの散在ごみ(不法投棄物)について、パトロール・清掃を実施することにより、地域住民の意識の高揚を図る。
	ごみ分別研修会	自治振興会区域内の環境委員さん等に、ごみ分別やリサイクルについての研修会を実施し、理解を深める。
	啓発事業	自治振興会内の小学生を対象に、不法投棄防止やごみ分別等についての標語を募集し、コンクールを実施することにより次世代の育成を図る。 また、優秀作品を看板にし、併せて啓発用のぼり旗等を作製することにより、住民の意識を高めるものとする。
	環境PR	自治振興会内の住民に、太陽光発電等の実演を通じ、環境への取り組みをPRする。
防災・防犯部会 予算額:3,616,000	自主防災総合訓練事業	いつ発生するかわからない地震や風水害に対して、地域自主防災組織との合同により地域住民が参加し総合的な防災訓練を実施することにより、地域防災関係機関との連携協力を図る。 併せて、防災備蓄資材等の充実を図り、非常時の伴谷地域の安心安全を図る。
	防犯パトロール実施事業	伴谷地区住民に対して、総合的な犯罪防止を目的として、各種の巡回パトロールを実施する。
	防犯灯の維持・計画設置事業	安心・安全のまちづくりのために、犯罪防止効果のある防犯灯の維持・計画設置を行う。
	消火栓器具の維持・計画設置事業	地域の防災、特に初期消火に資するため、消火栓器具等の維持・計画設置を行う。
	啓発事業	防災・防犯を目的とした啓発事業を行うことにより、防災・防犯意識の向上を図る。
健康福祉部会 予算額: 895,000	子育てひろば事業	伴谷地域内の未就園児とその保護者を対象に、日々安心して子育てができるよう、遊びの場を提供すると共に、相互の交流の場を設ける。
	高齢者の安否確認事業	65歳以上の方、障がい者の方、その他希望される方々を対象として、何かあった時に自分の情報をいち早く知ってもらい、かかりつけ医院や急病など救急時、また有事に必要な情報を得ることにより、安全安心を確保するため。
	一人暮らし高齢者の集い事業	一人暮らしの高齢者(65歳以上の方)を対象として、一人暮らしの方々の孤独感の解消や当事者同士のネットワークづくり、見守り支えあいの体制づくりの推進等を行うことを目的とする。
	健康ウォーキング	世代間交流を兼ねたウォーキングを通じ、健康管理増進を図る。
	100万歩運動事業	当地区の成人を対象として、申込者自身の健康づくり・健康管理・健康維持を目的として、ウォーキング事業を実施する。(健康づくりは一朝一夕にはできない。日々の健康管理・健康づくりが大切である。それにはまず取り組み易い“歩くこと”から始め、継続して実施することで健康増進を図る。)
スポーツ・青少年育成部会 予算額: 877,000	体育大会	伴谷全住民を対象とし、子どもからお年寄りまでの住民がグラウンドに集まり、スポーツやレクリエーションに親しみ住民相互の親睦と交流を図り、スポーツを通じた健康に対する関心と体力づくりを行う動機付けを目的とする。
	球技大会	スポーツを通じて伴谷地区住民の世代間及び地域間の交流を促進し、活力あふれる地域づくりを推進する。
	世代間交流大会	世代間が共に楽しめるスポーツの機会を設定する。
	青少年育成事業	花いっぱい運動 花の育成を通して自然への敬愛の心と優しさを育成する。
自然体験広場 自然体験を通じて、思いやりの心と助け合う精神の育成を図る。		